

# 薬局通信

## 第121号



大阪母子医療センター

### 新規試用または採用、採用区分が変更になった医薬品一覧

新規試用医薬品	新規採用医薬品
① レボセチリジン塩酸塩 DS 0.5%「杏林」 ② ラリキシンドライシロップ小児用 20% ③ 日本薬局方 ブドウ糖	① ベルジピン散 10% ② ソグルーヤ皮下注 5mg、10mg
新規患者限定医薬品	新規院外専用医薬品
① ウロマチックS 泌尿器科用灌流液 3% ② シンボニー皮下注 50mg オートインジェクター ③ トレプロスト吸入液 1.74mg	① アリチア配合錠 ② ニフェジピンL錠 10mg「サワイ」 ③ ドロエチ配合錠「あすか」 ④ コタロー茵ちん蕎湯エキスカプセル ⑤ トリメプチンマレイン酸塩錠 100mg

### 変更した医薬品

No	院内採用削除薬品名	理由	代替薬名
1	アーチスト錠 1.25mg	後発品へ切り替え	カルベジロール錠 1.25mg「DSEP」
2	アーチスト錠 10mg		カルベジロール錠 10mg「DSEP」
3	ネキシウムカプセル 10mg		エソメプラゾールカプセル 10mg「ニプロ」
4	セレネース注 5mg		ハロペリドール注 5mg「ヨシトミ」
5	プロイメンド点滴静注用 150mg		ホスアプレピタント点滴静注用 150mg「NK」
6	ミケランLA点眼液 2%		カルテオロール塩酸塩 LA点眼液 2%「わかもと」

採用薬品の処方開始は、原則として**2023年11月28日(火)**からになります。

ただし、採用中止薬、切り替え等は院内在庫薬がなくなり次第実施となりますので開始日が異なる場合があります。

## 新規試用医薬品

### ① レボセチリジン塩酸塩 DS 0.5%「杏林」 処方箋医薬品

(キョーリンリメディオ株式会社) 持続性選択 H1 受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤

一般名：レボセチリジン塩酸塩

### 採用理由

供給停止等で院内採用の抗ヒスタミン薬の散剤がなくなったため。

### 効能効果

[成人]

- アレルギー性鼻炎
- 蕁麻疹、湿疹・皮膚炎、痒疹、皮膚そう痒症

[小児]

- アレルギー性鼻炎
- 蕁麻疹、皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症）に伴うそう痒

### 用法用量又は使用方法

[成人]

通常、成人には 1 回 1g（レボセチリジン塩酸塩として 5mg）を 1 日 1 回、就寝前に用時溶解して経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、最高投与量は 1 日 2g（レボセチリジン塩酸塩として 10mg）とする。

[小児]

通常、6 ヶ月以上 1 歳未満の小児には 1 回 0.25g（レボセチリジン塩酸塩として 1.25mg）を 1 日 1 回用時溶解して経口投与する。

通常、1 歳以上 7 歳未満の小児には 1 回 0.25g（レボセチリジン塩酸塩として 1.25mg）を 1 日 2 回、朝食後及び就寝前に用時溶解して経口投与する。

通常、7 歳以上 15 歳未満の小児には 1 回 0.5g（レボセチリジン塩酸塩として 2.5mg）を 1 日 2 回、朝食後及び就寝前に用時溶解して経口投与する

処方区分：院内外処方可

長期投与の可否：可

薬価：56.<sup>50</sup>円/g

## ② ラリキシンドライシロップ小児用 20% 処方箋医薬品

(富士フィルム富山化学株式会社) 経口用セフェム系抗生物質製剤

一般名：セファレキシン

### 採用理由

本剤は、小児における骨・関節の感染症に対する治療実績が最も豊富な抗菌薬である。

代用しているセファクロルより狭域スペクトラムで、抗菌薬適正使用の観点からも必要な薬剤であるため。

### 効能効果

#### <適応菌種>

本剤に感性的ブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、大腸菌、クレブシエラ属、インフルエンザ菌

#### <適応症>

表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、涙嚢炎、麦粒腫、外耳炎、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、顎炎、抜歯創・口腔手術創の二次感染、猩紅熱

### 用法用量又は使用方法

通常、幼小児に対しては、体重 kg 当たりセファレキシンとして 1 日 25～50mg (力価) を分割して 6 時間ごとに経口投与する。

重症の場合や分離菌の感受性が比較的低い症例に対しては、体重 kg 当たりセファレキシンとして 1 日 50～100mg (力価) を分割して 6 時間ごとに経口投与する。

なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

処方区分：院内外処方可

長期投与の可否：可

薬価：38.<sup>10</sup>円/g

### ③ 日本薬局方 ブドウ糖

(扶桑薬品工業株式会社) ブドウ糖

一般名：ブドウ糖

#### 採用理由

メーカーからの無償供与分で当センター需要分を賄うことができなくなったため。

#### 効能効果

経口的栄養補給

ブドウ糖負荷試験

#### 用法用量又は使用方法

経口的栄養補給には、必要量を粉末あるいは水溶液として経口投与する。

ブドウ糖負荷試験には、通常成人 1 回ブドウ糖として 50～100g を経口投与する。

なお、年齢、体重により適宜増減する。。

処方区分：院内処方可

長期投与の可否：不可

薬価：8.2円/10g